

はたらくクルマ大集合

パート2

期間 2007年7月14日(土)～9月2日(日)

会場 本館2階特別展示室・新館1階

昨夏の企画展で好評だった「はたらくクルマ」の第2弾。今回は“暮らしの中で働くクルマ”に着目し、私たちの暮らしを支えるクルマの展示を通じて“働く”ことの大切さ・尊さを紹介しました。クルマたちが働く現場取材し、そこに働く人の仕事に対する真摯な姿や工夫も合わせて紹介しました。

1

住むコーナー

軽自動車サイズながら4人乗りで、大人2名子供2名が寝ることができる超コンパクトキャンパー。空間の生かし方や、自在なレイアウトを紹介しました。

キャンピングカー ek-Camp
ロータスRV販売株式会社より借用



撮影コーナーとして展示し、鳥の声や川のせせらぎのBGMも流しました。またビデオ映像を使って海外の大型キャンピングカーも紹介しました。

2



ごみ収集車の一日を取材した映像を放映、ごみの分別クイズコーナーも展示しました。

片づけるコーナー

家庭から出るごみや粗大ごみ、産業廃棄物回収にも使用される最新型ごみ収集車の構造を解説展示しました。

新館展示

新館1階には「消防車」「救急車」を展示しました。

⑤消防車 トヨタ ランドクルーザーFJ60型 (1968年)

⑥救急車 トヨタ ハイメディック (1997年)



ごみ収集車(プレス式塵芥収集車) G-PXタウンバック
新明和工業株式会社より借用

4

学ぶコーナー

「移動図書館」車を再現し、絵本など200冊を実物と同じように並べました。子どもたちには大人気のコーナーでした。



本箱ディスプレイでは、「世界のはたらクルマ」を取材した映像を紹介。貴重な博物館資料となります。

3

売るコーナー

車内に保存用冷凍庫・解凍棚・オープン・作業スペースを持つ「走るパン工場」です。



移動販売車 株式会社移動販売コンサルティングより借用



期間中

たくさんの体験イベントを行いました

7/15 (日)	パトカー・ミニ白バイ 写真撮影・交通安全ビデオ	8/12 (日)	起震車 地震体験
7/22 (日)	キャリアカー クルマ積み込み実演	8/19 (日)	救急車・消防車の乗車体験
7/29 (日)	キャンピングカー 特別展示 移動販売車・実演販売	8/26 (日)	JAF車両 災害指揮車の乗車体験、レッカー車実演
8/5 (日)	消防車 ポンプ車放水実演体験・はしご車乗車体験		

インドネシア製人力車
ベチャ(1995年)



乗合自動車 ジープニー (1991年)

「ジープニー」は後部座席に乗車し、記念撮影などで楽しんでいただきました。

5

運ぶコーナー

フィリピン庶民の足「ジープニー」とインドネシアの国民的乗物の人力車「ベチャ」を展示しました。



世界のタクシーのミニチュアカーを約20台展示、それぞれのお国柄ができました。横には世界のタクシーの取材映像を放映しました。



Back

Next

企画展準備の裏側

「はたらくクルマ大集合 パート2」では、クルマだけでなく、そこで働く人々の一日を取材しました。その様子をご紹介しますとともに大きくて重いクルマを展示場に搬入する際の苦労話をご紹介します。

展示準備の苦労話



今回展示の最大の難関でした。当館のカーリフトの最大積載重量3.5トンに対し、展示車は4.3トンもありました。そこで、バックドアを外して搬入する作業となりました。



当館に到着したごみ収集車、早速バックドアを外します。カーリフトで展示場に搬入した後、再度取り付けました。クレーンが天井に届きそうでしたが、無事会場にセットでき、ホッとしました。



ごみ収集車を一日取材



3人1組で作業開始です。5月でも暑い中、一生懸命作業するスタッフ。



収集したごみを焼却する工場の中です。名古屋市環境局のご好意で、スムーズな取材ができました。



一日のごみ収集が終了、運転手さんが自ら洗車します。人もクルマもお疲れ様でした。



移動販売車を一日取材

実際の展示車と同じ販売車の一泊取材です。



メロンパンを売る移動販売車の開店前の準備風景。取材はプロのカメラマン、てきばきと撮影が進みます。



周りにメロンパンの甘い香りが漂いはじめ、販売が始まるとすぐお客様が集まります。



この日は夜11時までの販売でした。夜遅くなってもはたらく姿に感動しました。



移動図書館を一日取材

名古屋市には現在2台の「自動車図書館」があり、市内約120ヶ所を巡回します。



最初の目的地に到着。この日はあいにくの雨でしたが、到着する前から利用者が集まりはじめました。



3人のスタッフは常に笑顔で親切に貸出作業をしていました。お客様に対する接し方を学ぶことができました。

こんな感じで働いています。



展示企画者より



期間中、小学生に無料配布した冊子。夏休みの自由研究に使えると好評でした。

昨年好評で開催希望が多かったため、第2弾「はたらくクルマ展」を開催しました。今回は教育的な内容にこだわり、「働くクルマ」と「生活・暮らし」「働く人」に焦点をあてました。しかし実際に準備を始めると、その内容を理解していただく展示が難しく、いくつもの課題を感じました。また、毎週日曜日にはたらくクルマ関連のイベントを開催し、予想以上に多くの皆さんに参加いただけました。展示・イベント開催に協力いただいた関係者にお礼申し上げます。来年も楽しい企画を考えますので、ご期待ください。



学芸スタッフ
杉浦 孝彦・藤井 麻希・清水 道明

【ご協力者一覧】

以下の皆さまにご協力いただきました。

- ・愛知県愛知警察署
- ・株式会社移動販売コンサルティング
- ・新明和工業株式会社
- ・トヨタホーム株式会社
- ・トヨタ輸送株式会社
- ・名古屋市環境局
- ・名古屋市南自動車図書館
- ・(社)日本自動車連盟愛知支部
- ・ロータスRV販売株式会社

(五十音順 敬称略)

Back

Next

秋の企画展のお知らせ

歌謡曲に登場したクルマたち

期 間

2007年9月14日(金)～11月25日(日)

場 所

本館2階特別展示室

歌謡曲や流行歌には、乗りものやクルマがタイトルや歌詞に登場し、その時代を映す「鏡」として歌い継がれてきました。

クルマが登場する歌謡曲は、まさに「歌い継がれた自動車史」であり、貴重な文化史とも言えるでしょう。今回の企画展では、おなじみのクルマが登場する歌謡曲を多数紹介し、実車8台とともに展示します。

同時に、時代背景や人々のクルマに対する思いなどを楽しい寸劇でご覧いただく「ミュージアム・シアター」や「SPレコード鑑賞会」などイベントも盛りだくさん。どうぞご期待ください。



※写真は全てイメージです



展示車の1台、トヨタ2000GT

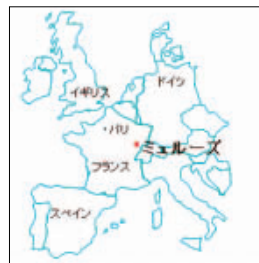
フランスの国立自動車博物館－シュルンプ・コレクション－は世界一のブガッティコレクションでも知られていますが、この度同博物館で開催される企画展「芸術と自動車」のメセナパートナーをTME※が引き受けることになりました。それがきっかけで、同

フランスで トヨタの歴史を紹介する 企画展を開催

期間に同館においてトヨタ70年の歴史を紹介する企画展「TOYOTA 70」を開催する機会に恵まれました。内容は歴史が主体でハイブリッド技術も含みます。歴史は創業期、成長期、飛躍期に分けて紹介します。



博物館外観



- 期 間／2007年9月20日(木)～2008年1月31日(木)
- 場 所／国立自動車博物館 アルザス州ミュルーズ市(ドイツ、スイスとの国境近く)
- 展示品／豊田G型自動織機、カローラ、トヨタ2000GT、ヤリス、レクサスRX400hのカットモデル、トヨタAA型を含むトヨタ車の5分の1模型7台〈G型自動織機は株豊田自動織機、車両はオランダのトヨタ代理店、ローマン&パルク社の協力によるものです〉

※Toyota Motor Europe

ウィリス MB

1941年（アメリカ）

● 長×幅×高：3359×1575×1772mm ● 軸距離：2032mm ● エンジン：水冷直列4気筒L-頭型 2199cm³ 54hp {40kW} / 4000min⁻¹





世界中の戦場を 駆け巡った 万能車両

はじめに

『JEEP』は現在、ダイムラー・クライスラー社の商標ですが、単なるブランド名に留まらず、広く小型四輪駆動車を示す代名詞にもなっています。この『JEEP』の原点が、今回ご紹介する第二次世界大戦時のアメリカ陸軍の制式車、『ウィリス MB』および『フォード GPW』、正式には、『TRUCK、COMMAND、RECONNAISSANCE、1/4TON 4×4 WILLYS-OVERLAND MODEL MB AND FORD GPW』です。

開発の経緯

1939年当時、アメリカ陸軍はチェコスロバキア、ポーランド等に対する、ドイツ軍の種々の戦闘車両を使用した機甲師団による“電撃作戦”を目の当たりにしました。この作戦で中心的に活躍した車両に、小型・軽量の偵察・連絡用『キューベル・ワーゲン』があり（四輪駆動ではない）、アメリカ陸軍でも、この種の車両の開発に着手することになりました。

計画案が決定されると、1940年7月、メリーランド州のアメリカ陸軍ホラバート補給本部内に新たに設けられた、小型偵察車両開発


委員会は、米国内135の自動車メーカーに入札案内を送り、ここに1/4トン軍用車、後の『JEEP』の開発競争が開始されました。その内容は以下の通りでした。

- ・車両重量1300ポンド（590kg）
（到底実現不可能な数値と判明したため、後に2160ポンド（980kg）に引き上げ）
- ・四輪駆動
- ・エンジン最高出力45hp
- ・ホイールベース80インチ（2030mm）以下
- ・トレッド47インチ（1195mm）以下
- ・最低地上高6.25インチ（160mm）以上
- ・有効積載量600ポンド（270kg）
- ・低速走行をしても、エンジンのオーバーヒートを防ぐ性能



前線では装甲板や機関銃を装備した車両もあった

Willys MB Nickname; Jeep

ウィリス MB (通称：ジープ) [1941年  アメリカ]

清水 道明



シンボリックなグリルのスリットは、現在の7本に対して当時は9本

入札条件には、入札後49日以内の試作車納入、75日以内の野戦テスト車両70台の納入が付記されました。

当時経営不振であったアメリカン・バンタム社と、軍と強い協力関係にあったウィリス・オーバーランド社の2社のみが入札に参加しましたが、ウィリス社は入札後49日間での試作車納入は不可能と判断し、入札から一度は降りてしまいます。

一方のバンタム社は、1940年9月23日、連日の突貫作業の末、試作1号車を遂に完成させ、ホラバートのアメリカ陸軍補給本部に、納入期限の30分前に到着というドラマチックな納入となりました。この後、一ヶ月近い過酷なテストの結果、このバンタム1号車をベースとした発展形を採用することが決定され、10月にはバンタム社は最初の契約700台を獲得、『JEEP』の歴史を切り開いたのです。その頃はまだ『JEEP』とは呼ばれず、『バンタム偵察車』、BRC (BANTAM RECONNAISSANCE CAR) と呼ばれていました。

ところが米陸軍は、弱小企業であったバンタム社の生産能力を危惧し、ウィリス社、フォード社にバンタム社の設計図を公開して各社独自の試作車の納入を命じます。

1940年11月、ウィリス社は『クアッド』(QUAD)、フォードは『ピグミー』(PYGMY)と呼ばれる試作車をホラバートに納入、ここに3社の試作車が揃いました。

1941年、バンタム社は改良を加えた『BANTAM 40 BRC』を製造し、主にイギリス軍とソビエト軍へ供給しました。ウィリス社も改良型『WILLYS MA』を製造し、主にソビエト軍向けの車両としました。フォードの改良型は『FORD GP』と呼ばれて主にイギリス軍向けとなり、これは「BLITZ BUGGY電撃作戦車」としても有名です。こうして3メーカーの各モデルはアメリカ軍による過酷なテストと、ヨーロッパ・アフリカ戦線での実戦配備により比較検討されていきました。

これら試作3車の実用テストの結果は、エンジン性能で自社の乗用車「アメリカ」で実績のあったウィリスが他を圧倒して優位に立ち、総合点でも、1.ウィリス、2.バンタム、3.フォードの順となっていました。

最初の試作車を提出したバンタム社に優先権を与えるべきだとの強い圧力は政府関係者や軍上位部からも出ていましたが、1941年6月、米陸軍補給部は純粋に技術的な結論として以下を決定しました。

<参考文献>

- ①『ジープ 不滅の戦闘車両』
デンフェルド・フライ 高斎正 訳 (株)サンケイ出版
 - ②『The Jeep Book』
石川雄一/CCV編集部編 大日本絵画
 - ③『JEEP』
斎藤忠直 池田書店
 - ④『U.S. ミリタリー・ビークル』
KKワールドフォトプレス
- その他、各種Web情報

①『ウィリス MA』のボディ構造と、エンジンを基本として、『フォード GP』のフロント・デザインを採用すること。

②フォードはその車両と100%パーツ互換性を持つ車を製造すること、及び速やかにそのための設備を整えること。

この決定に基き、1941年7月ウィリス社との間に18,600台の契約が結ばれました。これが『ウィリス MB』の誕生です。

フォード社も米陸軍補給部の決定を受理、立ち上がりはウィリスのフレーム、エンジンを使用し、早急に製造設備を整えることを条件に、第一回契約分15,000台の『フォード GPW』の量産契約を締結、ウィリス社はフォード社に完璧な仕様を提供しました。

4年間で64万台

こうして、ここにMB/GPW『JEEP』が誕生し、1945年の終戦まで、わずか4年足らずの間に、『ウィリス MB』はオハイオ州トレドの工場361,349台、『フォード GPW』はミシガン州トロイト等、五つの工場277,896台の合計約64万台もの『JEEP』が生産されました。

ジープの生産の中心はウィリス社とされ、フォード社はあくまでもセカンドソースと位置付けられていました。これは生産を一社だけに絞っておくと、不測の事態で供給が止まる恐れがあるのでソースを分散させておく方法です。ジープの場合は短期間に大量の調達を行ったので、ウィリス社のような小さな生産設備では足りず、フォード社の大量生産能力を活用したのです。

『ウィリス MB』のMBはMODEL Bの略、『フォード GPW』のGPWはGENERAL PURPOSE WILLYSの略称であるといわれています。

ジープは頑丈で軽量な車体と信頼性の高いエンジンにより優れた路外走破性を発揮し、兵員や弾薬・物資の輸送、偵察・連絡など幅広い任務に活躍しました。中には野戦救急車としての装備を施したモデルもありました。

また、アメリカ軍だけでなく、多くの連合国にも供給され、ヨーロッパ、アフリカ、そして太平洋の島々などあらゆる戦場を駆け巡って連合国軍の勝利に貢献しました。

因みに、ジープの系譜からは外されてしまったバンタムですが、初期にソビエト連邦に供与された固体をベースにソビエト国産のジープ型車両が誕生し、不運だったバンタムの系譜はソビエトで生き長らえたというわけです。

名前の由来

前線での活躍があちこちで有名になると、いつしかこの車両は『JEEP』というニックネームで呼ばれるようになりました。

『JEEP』の名前の由来は諸説あり、定かではありませんが、ここでいくつかの説をご紹介します。

もっともポピュラーなものとして、エルジー・クライスラー・シーガーが描いた漫画『ポパイ』の中に登場した怪物、『JEEP』に因んだ

ものという説があります。

1936年3月16日、シーガーはポパイの漫画に『EUGENE THE JEEP』という名札を貼った謎の箱を登場させました。この箱は4月1日に開けることになっており、その日になって小さな犬くらいの動物で、後ろ足で立つ『EUGENE THE JEEP』が現れました。彼は次元の間を行ったり来たりするなど、いろいろな超能力を使いながら不可能な事々を解決して非常に有名になり、その超能力と陸軍の1/4トン・トラックの万能性能に類似点があったので、『JEEP』という名前がトラックの方にも使われるようになったというのです。

また、別の有力な説として、『FORD GP』のGPである、GENERAL PURPOSEのGPの発音が縮まって、自然と『JEEP』となったというものもあります。

その他にも、

○米国の自動車修理工場で当時よく使われていたエンジンや電装品を検査する万能テスターが『JEEP』と呼ばれていたため、似たようなイメージから愛称になったという説

○もともと米国陸軍の中には頑丈一点張りに作られている軍用トラック全般を指して『JEEP』と呼ぶ習慣があり、それがいつの間にか固定化して伝えられたという説

○米国ミネソタ州陸軍補給部隊の軍曹が自分の管理していた大型砲牽引用の力の強いトラクターを『JEEP』と呼んでいて、新たに配属された車両をテストしたとたん、「こいつは凄いや、これもJEEPだ!」と叫び、それがそのまま他の部隊にも伝わって普遍化したという説

などの諸説があります。

戦後の『JEEP』

第二次世界大戦終了後、進駐軍(GHQ、連合国最高司令官総司令部)とともに大量のジープが日本へやってきました。展示車のこの『ウィリス MB』は、戦後最初に日本に上陸し、情報収集、撮影などを行った車両のロゴマークを模したものです。

ウィリス社は1945年に民間向けモデルの量産にも着手、その後『JEEP』という名称は法的に届け出がなされ、1950年6月13日に登録商標と認められています。この措置に対し、共に量産メーカーを務めたフォード社は特に抗議をすることもなかったといわれています。

ウィリス・オーバーランド社は1953年にカイザー社(KAISER)に買収され、社名はウィリス・モーターズ・インコーポレーテッドとして子会社化されました。1963年にはカイザー社自体が社名をカイザー=ジープ・コーポレーションに変更、1970年にアメリカン・モーターズ社(AMC)に買収されました。1987年にはAMCがクライスラー社に吸収され、クライスラー社も1998年にダイムラー・ベンツ社と合併してダイムラー・クライスラーとなって現在に至っています。(※1)

日本では、1953年から新三菱重工業、後に

分社化して三菱自動車工業が『三菱JEEP』という名称でライセンス生産していましたが、陸上自衛隊の採用中止に伴い、1998年に生産終了となりました。

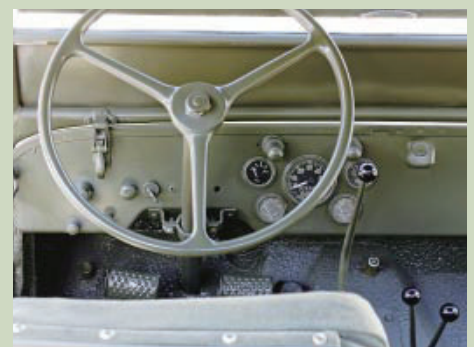
おわりに

こうして、第二次世界大戦直前の1941年に生まれた小型四輪駆動車『JEEP』は、戦中戦後を通じてそれまでわれわれの知らなかった新しい可能性を持つ自動車として、さまざまなかたちで人類に貢献しました。たとえば、四輪駆動によって得られる不整地走破能力は生活や行動の範囲を広げたことをはじめ、自動車技術としても高く評価されます。ジープの合理的かつ経済的な構造は純粋な機能美を持っており、ジープこそが輸送手段としての自動車の機能を徹底的に追及したひとつの本来の姿であり、戦後のクルマづくりの基本にもなっているのです。

※1：2007年9月ダイムラー・クライスラーは分離独立し、クライスラーはサーベラス傘下となる予定。



初期(1942/6まで)のモデルではリアパネルに「WILLYS」のロゴが刻まれる



シンプルで機能的なインパネ



大切なのは ライフスタイルに合った クルマ選び

俳優

唐沢 寿明さん



1 970年代後半に一世を風靡したいわゆる「スーパーカー世代」。クルマに興味を持ったのは小学校の高学年。スーパーカーブームの火付け役となった池沢早人師さんの漫画「サーキットの狼」を夢中になって読んだ。当時最も流行ったのはスーパーカーの消しゴム集め。フェラーリやカウンタックなどを買い集め、友達と交換しながらコレクションを増やした。集めるだけでは飽き足らず、友達とどちらがよく走るかを競いあった。「タイヤの裏にバンドをつけて乾かすとよく滑るんだよ」と少年のような笑顔で話す。

免許は18歳で取得。クルマは欲しかったがまだ余裕がなかったので、友達から借りたクルマやレンタカーであちこち走りまわった。いろいろなクルマに乗ったが、特に“欲しいクルマ”という概念がなかった。「お金がなくて買えないのに、買いたいクルマばかりを思い描いてストレスを溜めるのが嫌」だったからだ。25歳の頃、念願のマイカーを手に入れた。中古のニッサン「Be-1」。好みの丸っこいクラシカルなスタイルが気に入った。

次 に買ったクルマは「ホンダNSX」。主演したテレビドラマ「愛という名のもとに」がヒットした頃だった。NSXはいわゆるスーパーカー。当時の国産車の中では最も速いクルマだった。さっそく納車日に高速を飛ばした。特にスピードを出すことが好きだったわけではないが、「パワフルであまりにも速い」のに感激した。その後NSXのオートマチック車、マニュアル車、よりマニアックなタイプRなどを乗り継いだ後、現在も所有している白の「トヨタ2000GT」を購入した。

2000GTを選んだ理由を尋ねると、「国産であること、何といっても秀逸な

デザイン」との応えが返ってきた。2000GTといえば今から40年も前にトヨタとヤマハが共同開発した本格的なGTカー。このクルマを外国人の手を借りずに独自開発した「心意気に感心」したという。「何事も初めてというものはリスクがつきもの。なのにそれを実行したことはすごい。誰かがやったことを後追いするのは簡単だけど、最初にチャレンジすることの難しさは俳優業でも同じなんですよ」と、自分の生き方と相通ずる2000GTへの思いを熱く語る。

実物の2000GTを初めて見たのは名古屋。売りに出されていると聞いて飛んで行った。流れるようなボディラインを目の当たりにして、少年時代にむさぼり読んだ「サーキットの狼」の感動が甦った。漫画に登場するのと同じ後期型で「一目で気に入って」即購入した。

現 在、所有しているクルマは2000GTを含めて4台。50年代の「ポルシェ356」、70年代の「ビートル」、そして最新型の「ポルシェ」。新しい方のポルシェは他の3台が故障した時の「保険のようなもの」で、ほとんど乗っていない。

その時々のお好みに応じてスーパーカーの「フェラーリ」や軽自動車のダイハツ「コペン」にも乗っていたと聞き、一番好きなクルマを尋ねてみた。すると、「それはトヨタ2000GTでしょう。ずっと乗り続けた唯一のクルマ。生涯をかけて残していかなければならない」との答えが返ってきた。

さぞかし丁寧に扱い手をかけているのかと思ったが、「洗車などはマメにしないし、飛び石も少々のことだったら気にならない」という。クルマは「単なる飾りものではなく、運転を楽しむもの」だからだ。仕事の時も

可能な限り自分で運転して行く。先日も京都の撮影現場まで2000GTを飛ばして行ったが、「運転して行く方が新幹線よりも疲れない」と笑う。長距離の時を含め運転中は音楽を聴かない。もっぱらエンジン音に耳を傾けながら車窓からの景色を楽しみハンドルを握る。

外観を飾ることはしないが、古いクルマなのでメンテには気を使っている。いつもエンジン音を聞いているのでクルマの調子は音で分かる。エンジン音やクラッチに違和感を覚えた際は早めにケアをする。それでも街中で愛車に機嫌を損ねられることがあるが、そんな時は近くのスタンドに助けを求める。

自 分のライフスタイルに合った車を選ぶ」が持論。最近はやたら高級なクルマに乗り、気取っている人が多いと嘆く。「己を知り、常にその時々ライフスタイルに合う車に乗ることが大切」と力説する。暑い中、窓を開けながら古いシトロエンを楽しそうに運転していた初老の紳士の姿は「カッコよかった」と振り返る。クラシックカー好きと思われるが、「自分の好みや生き方に合ったクルマがたまたまクラシックカー」というだけだそう。自分の感性に合うデザインのクルマが現れた時には、新しいクルマにも乗ってみたいと思っている。

▼唐沢寿明（からさわ としあき）

俳優。1963年生まれ。東京都出身。代表作に利家とまつ（NHK）、白い巨塔（CX）、CASSHERN、THE有頂天ホテルがある。現在も多くの映画やテレビで活躍中。趣味は映画鑑賞。

サマーメモリー 2007

～夏休み子ども工作教室～

8月11日(土)から8月15日(水)のお盆期間に
毎年恒例の夏イベントを開催しました。
今年は昨年大人気だった『木のクルマ』に加え、
季節感たっぷりの『風鈴』と『ペーパークラフト』を行ないました。
会場は連日開館と同時に満員で大盛況のイベントとなりました。

木のクルマ

基本セットをもとにいろんな形の
クルマを作るので大人気！
今年はヘリコプターも登場しました。



指導員がドリルなどの使い方を教えてくれました。



親子で協力しあってとびりの1台を完成させました。

風鈴

無地の風鈴にカラフルなシールをはり、
オリジナルの風鈴を作りました。



「上手にできたよー」と喜んで
見せてくれました。



ペーパー クラフト

かわいいはたらく車のペーパークラフトを
作りました。



クラシックカーの
運転席廻り(3)

デューゼンバーグ モデルJ

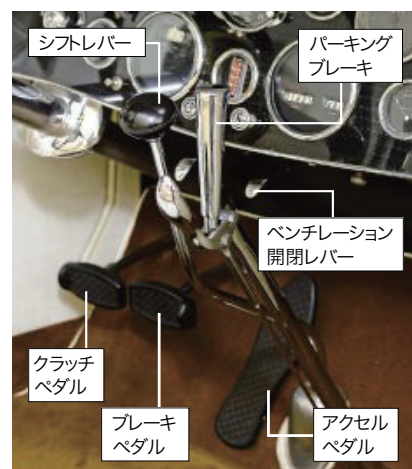
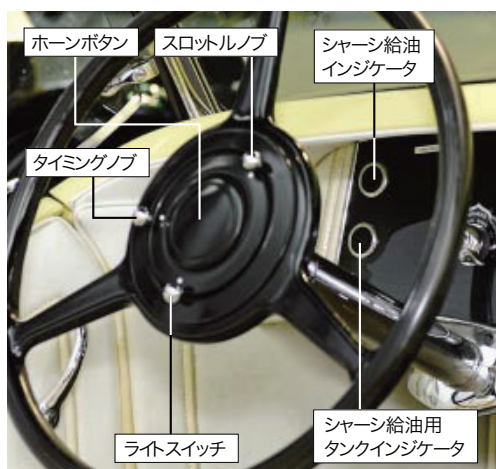
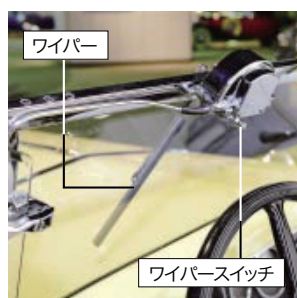
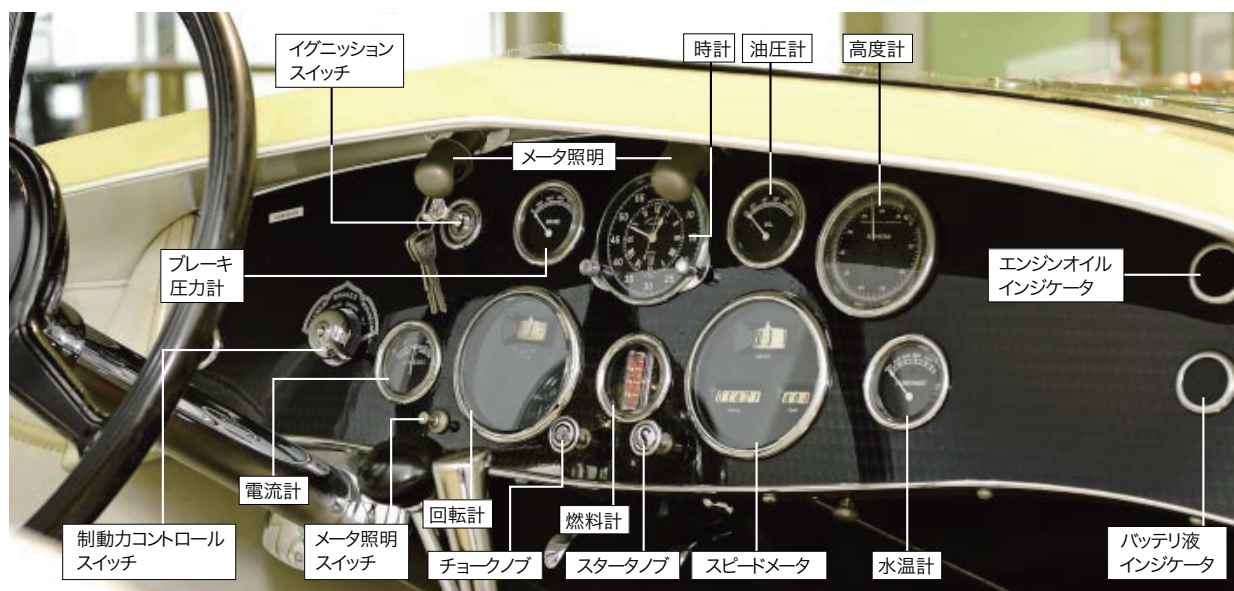
Duesenberg Model J

展示場では見にくいクラシックカーの運転席廻りの操作装置や計器類についてご紹介します。

今回はデューゼンバーグ モデルJ (1929年・アメリカ) です。豪華なボディに、レーシングカー並みの高性能エンジンを搭載した、アメリカの夢と富のシンボルとされた車です。価格も飛び抜けて高く、大衆車のフォードやシボレーが500ドル以下だった時代に1万5千ドルから2万ドルもしました。映画スターのクラーク・ゲーブルやゲイリー・クーパーが愛用したことで知られています。

ボディは、アメリカやヨーロッパの最高のコーチビルダーが製作を担当しました。2カウルの独特なボディはルバロン製のフェトンで、数あるバリエーションの中でも有名なモデルです。

○エンジン型式：水冷直列8気筒DOHC
○総排気量：6885cc ○変速機：3速M/T





100年前のAUTOCAR (週刊誌、イギリス)から “風雨からの保護”

その3

山田 耕二

今から100年前、ほとんどの自動車には屋根が無く、あってもその大半は折りたたみ式の幌が後席だけを覆うものだった。当然、サイドガラスはおろかフロントガラスさえ無いのが普通だった。ドライバーや乗客は風雨やほこり、寒さから身を守るために天気に応じてコート、帽子、ゴーグル、ひざ掛けなどを使用した。今回は、オートカー誌の読者のひとりが彼の愛車の12馬力ブジョー(1905)に装着したウェザープロテクションについて紹介した記事を取上げる。

1907年9月7日号に掲載された記事を要約

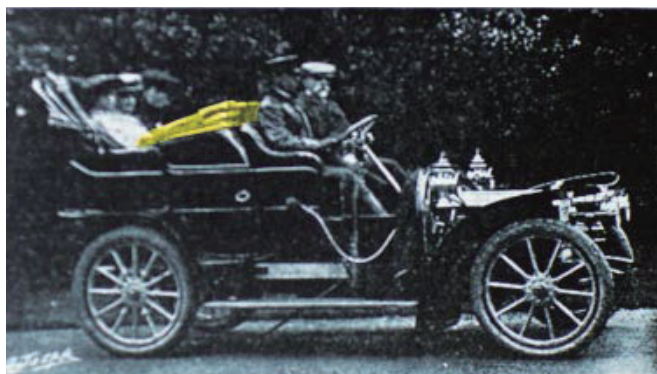
「私は昨年、2年半前に買った12馬力ブジョーにフロントレザーシールドを取り付けた。それはとても快適だったので今年になって同様のものを後席にも取り付けた。スピードメーターは無いが、シールドを取り付けたことが走行抵抗になっているようにはまったく感じられない。シールドの内側はエンジンからの熱で暖かく保たれ、前席など冬の一番寒い日でさえひざ掛けが要らないほどだ。私は風の抵抗を考えて幌の高さをできるだけ低くしたが、それでも高い帽子をかぶったご婦人の方の頭上には余裕がたっぷりある。後席用の幌は女性1人で簡単に操作でき、車を止める必要もない。私は最近9日間の旅行に出かけたが、家内は傘を扱うような感覚で、気分に応じて幌のポジションを変えていた。この幾通りにもアレンジできる幌を付けた結果、最近天気に関係なく車を借して欲しいと頼まれることが多く、1台しかないため少し困っている。私は今では好天より雨天のドライブの方が好きになっている。」

オートカー誌はこの読者に対して、本当にひどい天気ของときには前席の乗員の頭と肩は保護されないのではないかと問いかけている。それに対する読者の回答は次の通りだ。

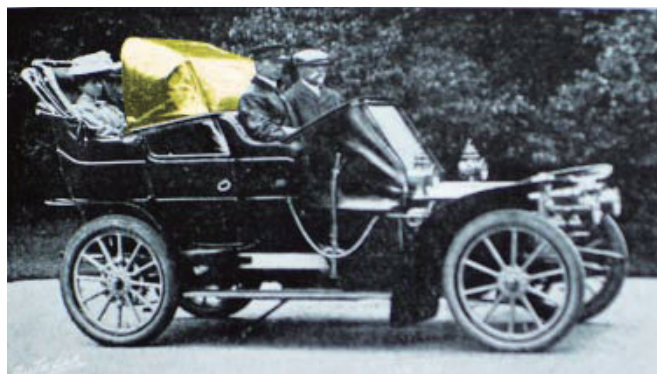
「私はその点を見落としていたわけではない。実際にはその対策がなくてもほとんど不便しないため、たまにしか使わないものを装着して車に始終重い負担をかけない方がよいという結論に達したのだ。走行中にほとんど濡れないことは驚くほどで、どしゃぶりのような雨を除けば頭と肩だけを適当なもので守りさえすればよい。雨の中で車が止まっているときは前席が濡れないように雨よけを掛けるか、大きな傘を使っている。傘を差すソケットは運転席と助手席の間に付いている。折りたたみ式ガラス付きのポータブルルーフや、前に倒せるフロントガラスも考えたが、やってみるまでの必要性は感じられず、そういったものが無くてもやはり私は自分の車の前席が気に入っている。

追伸 私の車に乗ったある人いわく「この車で寒いと感じたのは車を降りるときだけだった。」

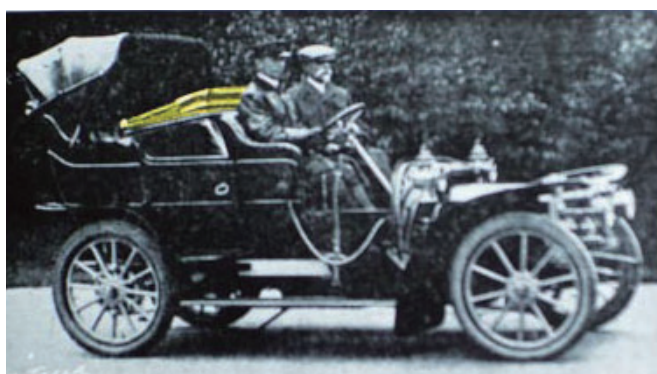
この記事では8通りの使い方が写真で紹介されているが、その中から4つを紹介する。最初に取り付けたフロントレザーシールドは①③に無く、②④の写真で運転席前に見られるもので左右まで周り込んでいる。4通りの使い方ができる後席前の幌(わかりやすくするため黄色に着色)が雨や風、気温の状況に応じて威力を発揮する。オーナーが一番好きなのは、心地よい風が入り、暑い日の陽射しも遮ってくれる④のポジションだとのこと。



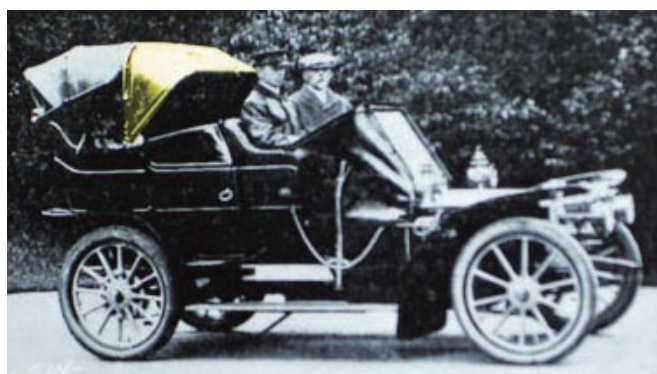
① 晴天時はすべてオープン



② 風がやや強いとき



③ たいした雨ではないとき



④ 陽射しが強いとき

各地で館PR活動と車両展示を実施

タイトヨタ・シティショーケース
(タイ・バンコク)

8月15日(水)～9月30日(日)の間、当館所蔵のトヨタ2000GTを展示中です。今回は海外での初めてのトヨタ博物館のPR展示となるため展示前に館スタッフが現地へ赴き、車両解説や館の見どころなどを入念に打合せしました。

大芝高原クラシックカー・フェスティバル
(長野県南箕輪村)

8月25日(土)にトヨタ2000GTボンドカーを展示しました。はじめて見るボンドカーに多くの人がつめかけ、盛んにシャッターを押していました。

白山スーパー林道開通30周年記念イベント
(岐阜県白山スーパー林道)

8月26日(日)、記念イベントが行われた同林道の岐阜県側にある蓮如茶屋に、当館のクラウンRS21型とトヨタ2000GTボンドカーの2台を展示しました。会場には燃料電池車のトヨタFCHVも展示され、新旧のクルマの対比を楽しむ大勢の人で一日中賑わいました。

夏休み限定のお客様サービス



夏休み中の毎日曜日とお盆の期間、ミュージアムショップではスタッフがトヨタ2000GTのTシャツを着てお客様サービスに努めました。このTシャツは実際にショップで販売しています。



8月11日(土)～19日(日)までの9日間、浴衣での来館者を無料としました。その間の土日には当館受付のTAMキャストも色とりどりの浴衣を着用しました。初の試みでしたが、季節感のあるサービスでたくさんのお客様に喜んでいただけました。

紀要No.13を発行



「トヨタ博物館紀要」NO.13を発行しました。今回は前回に引き続き「古川ロッパ昭和日記」より自動車履歴の紹介など全4点のテーマを取り上げています。ご希望の方は、住所、氏名、電話番号をご記入の上、郵送料(切手180円分)を添えて下記までお申し込みください。
〒480-1131 愛知県長久手町
トヨタ博物館「紀要係」

募集 T型フォード運転講習会のご案内



T型フォード運転講習会の受講者を募集しています。

(各コース2名、雨天中止)

- 実施日: 10/18、11/1
(いずれも木曜日)
- 時間: ①9:30～12:00
②13:30～16:00
- 受講資格: マニュアル車免許保有者で常時運転している方
- 受講費: 5,000円(当日徴収)
- 申込方法: 往復はがきに①希望日と時間②郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号③免許証の種類と取得日④運転歴と現在の運転状況を明記のうえ希望日の20日前必着で「T型フォード運転講習」係まで。
1枚のはがきにつき1名1コースの申し込みをお願いします。

募集 バックヤードツアーのご案内



好評いただいているバックヤード(車両収蔵庫)見学会を開催します。タッカーやホルヒなど普段なかなか見ることができないクルマを学芸スタッフがご案内します。

- 実施日: 10/7、10/21、10/28、11/11
(いずれも日曜日)
- 時間: 13:30～45分程度
(要入館料)
- 申込方法: 往復はがきに、希望日と住所、氏名、電話番号、同伴者数を明記の上「バックヤードツアー」へ(毎回先着10組まで)

セリカオーナーズクラブ



7月15日(日)にセリカオーナーズクラブの会合が当館で開催されました。当日は台風4号の影響が心配されましたが、15台のセリカが一堂に集まり、会員相互の交流を深めました。



寄贈 クラウンカーバッジ



名古屋市の磯村義典様より下記の寄贈がありました。

- NCCカーバッジ 3ヶ
- 10年会員記念メダル 3ヶ
- 平成2年発刊・会報 1冊

磯村様は元名古屋クラウンクラブ会長で、この度、同クラブの解散に伴い記念の品々を寄贈してくださいました。

寄贈車両のお知らせ

下記車両の寄贈がありました。

車 両	寄 贈 者
キャデラックアランテ (1989年)	豊島県取締役会長 豊島徳三 様
トヨタセンチュリー (1999年)	㈱三井住友銀行 様
ビュイックモデルF (1908年)	インタービジョン コンソーシアム取締役会長 小林恵智 様
フランクリン (1917年)	早稲田大学創造理工学学術院 様

今回の企画展を見られたご感想を聞かせてください!

大月さんファミリー(愛知県三好町)

トヨタ博物館には2回目の来館です。

息子が車が好きなので今日は救急車や消防車を見ることができ大喜びです。

イベントでは木のクルマとペーパークラフトを作りました。

またこのような機会があったら是非参加したいです。



▲新館1階にて

ミュージアムレストラン情報



ミュージアムレストラン「AVIEW(アビュー)」に新メニュー「博物館セット」が加わりました。車海老フライ&味噌ヒレカツがひと皿になった、ボリューム満点のセット。是非ご賞味ください。

「博物館セット」

- ・車海老フライ&味噌ヒレカツ
- ・サラダ
- ・パンまたはライス
- ・ドリンク

1,400円(税込)

[読者の声]

- 父と祖母と久しぶりにトヨタ博物館を訪れました。昔の車の美しさや手入れの行き届いた姿に大興奮しました!!!

(愛知県 内田美樹さん)

- いつも楽しく見ています。16歳で軽免許をとり、現在までいろいろな車を運転しました。71号の表紙のスカイラインやファミリアも大変懐かしいです。次号も楽しみにしています。

(静岡県 斉藤柳一さん)

-



(鹿児島県 新屋貴史さん)

TAMクイズ

このクルマはなんでしょう?
(本誌に登場したクルマです)



見て
はな
く

<応募方法>

ハガキまたはEメールにクイズの答え、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、意見・感想、本誌をどこでご覧になったかをご記入の上、ご応募ください。

(締切り: 2007年10月30日消印有効)
抽選で10名の方にオリジナルグッズをプレゼント。

<送り先>

〒480-1131 愛知県長久手町
トヨタ博物館クイズ係

<メールアドレス>

XK-kandayori@mail.toyota.co.jp

●先号の答え

マツダ ファミリアSSA型

[編集後記]

この夏はとても暑い日が続きましたね。

皆さんはいかがお過ごしでしたか?

今回初めて、「クルマと私」のコーナーで俳優の唐沢寿明さんの取材を担当しました。TV以上にカッコよくとても緊張しましたがフランクに話してくださりすっかりファンになりました。
(與語美紀子、加藤千晴)